

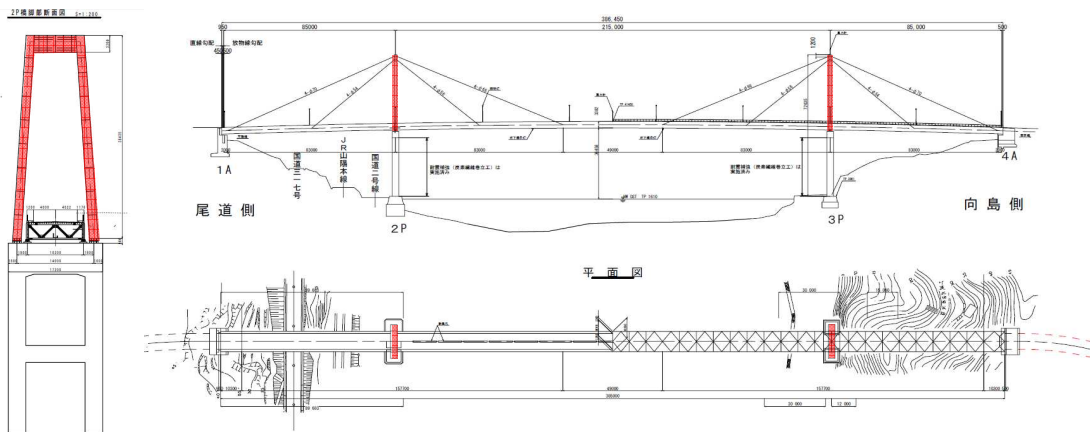
一般国道 317 号 道路災害防除事業 (尾道大橋 橋梁補修工事)

尾道大橋は、国内の斜張橋では初めて支間長が 200m を超える渡海長大斜張橋として、昭和 43 年に供用開始され、供用後 52 年を経過している。

塗装については、平成元年から平成 3 年に塗り替え工事が行われ、その後 29 年が経過し防食機能・光沢度の低下がみられるため、平成 27 年度より全面的な塗装のリフレッシュ工事を行っている。

令和 2 年度は、2P・3P 主塔の塗装及び支承等の補修工事を施工する。

路線名	全体計画概要	令和 2 年度
一般国道 317 号 (尾道市尾崎本町～ 向東町)	上部工 塗装塗替工 舗装補修工 ケーブル補修工 地覆等補修工	主塔 (2P・3P) 塗装塗替工 A=3,010m ² 〔外面:1,020m ² 〕 〔内面:1,990m ² 〕 支承補修工 1 式
	事業費 約 15.5 億円	工事費 約 3.5 億円



《塗替イメージ図》